| 科目名 ： | 英語表現Ⅰ | 単位数 ： 2 単位 | 必要スクーリング出席回数： 8 回 |
|---|---|---|---|
| 使用教科書 | ：NEW FAVORITE English Expression Ⅰ （東京書籍） | | |
| 学習書 ・副読本 | ：同準拠の学習書 | | |

| | 年間総数 | １範囲 | ２範囲 | ３範囲 |
|---|---|---|---|---|
| レポート [R] | 6 枚 | 2 枚 | 2 枚 | 2 枚 |
| スクーリング [S] | 18 回 | 7 回 | 6 回 | 5 回 |
| テスト [T] | 1 回 | ○ | × | × |
| その他 （課題・実習等） | | | | |

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

英語ＩまたはＣ英語Ｉを、履修・修得した人を対象とする科目です。初めは、短く、やさしい文を書いていきます。また、単元ごとに、英語で自己表現をする場面を設けます。間違いを恐れず、英語で表現する楽しさをぜひ知ってもらいたいです。アドバイスとしては、その日に学んだ表現を復唱するなどして、自分のものになるようスクーリング以外でも練習してください。

## 2 学習の到達目標 （CAN-DOリストによる4技能の到達目標）

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| ・簡単な語や表現を使って、日常の挨拶や季節のやりとりができる。<br>・日常的な事柄について、簡単な表現を使った受け答えができる。 | 英語表現Ⅰ<br>・スクーリング中の音読練習 | ・基本的な語句や表現を使って簡単な英文を書くことができる。 ・自分のことや学校のことについて基礎的な表現を使って書くことができる。 | 英語表現Ⅰ<br>・レポート | ・決まった表現でゆっくりと話された基本的な英文を理解することができる。<br>・はっきりと話されれば身近な事柄について簡単な文が理解できる。 | 英語表現Ⅰ<br>・スクーリング中の聞き取り練習 | ・基本的な語句や表現から構成される英文を基礎的な文法事項の知識を活用して読み取る事ができる。<br>・簡単な語句や表現を使って書かれた身近な事柄に関する文を理解できる。 | 英語表現Ⅰ<br>・スクーリング<br>・定期考査 |

## 3 学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | ・観察<br>（スクーリング）<br>・記述の点検<br>（レポート） | CAN-DOリストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DOリストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | ・記述の確認及び分析<br>（レポート）<br>・定期考査 |

・学年末に５段階で評価する。

## 4 学習の活動

| 学期 | 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1<br>範囲 | Lesson１<br>文構造①<br>Lesson２<br>文構造②<br>Lesson３<br>時制①<br>Lesson４<br>時制②<br>Lesson５<br>完了形①<br>Lesson６<br>完了形②<br>Lesson７<br>助動詞①<br><br>(7回) | 各レッスンにおいて本文があり、その中のキーセンテンスを理解する。基本的な文構造を理解したうえで、自分自身のことを表現していけるよう、問題構成等がされている。また各レッスンの要所で、役に立つ表現や知っておくと便利なコラムが載っており、英語を表現する本来の楽しさをより高め、関心を持たせる内容である。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | | ・自分について、何を書けば、よい文になるか考えることができる。 | ・スクーリングにおいて、自己紹介を作ってみる。 | ・役立つ表現を繰り返し練習して慣れようと努めている。 | ・レポート提出<br>・定期考査 |
| | | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | | ・自分の名前、年齢、趣味などが表現できる。 | ・スクーリング、レポートを通じ、表現する場を設ける。 | ・定型文の意味を理解したうえで、すんなりと表現できる。 | ・レポート提出<br>・定期考査 |
| | | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | | ・日本語とは異なる、英語の文型を理解できる。 | ・本文を読んで内容を理解する。 | ・本文中の要点を理解できる。 | ・レポート提出<br>・定期考査 |
| | | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | | ・今後、外国人に対して、自己紹介をする機会が多くなる、ということが理解できる。 | ・本文を読んで内容を理解する。 | ・例示する表現の使い方を理解できる。 | ・レポート提出<br>・定期考査 |
| 2<br>範囲 | Lesson8<br>助動詞(2)<br>Lesson９<br>受け身<br>Lesson10<br>to不定詞<br>Lesson11<br>動名詞<br>Lesson12<br>分詞①<br>Lesson13<br>分詞②<br><br>(６回) | １範囲と同様、各レッスンにおいて本文があり、その中のキーセンテンスを理解する。基本的な文構造を理解したうえで、自分自身のことを表現していけるよう、問題構成等がされている。また各レッスンの要所で、役に立つ表現や知っておくと便利なコラムが載っており、英語を表現する本来の楽しさをより高め、関心を持たせる内容である。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | | ・日本文化、また外国文化について興味・関心を持つことができる。 | ・スクーリング、レポートを通じ、あるテーマについて自分の意見、感想を持つ。 | ・スクーリング中、積極的にし、レポートも正答率が高い。 | ・レポート提出 |
| | | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | | ・日本文化について説明ができ、また外国文化についても説明ができる。 | ・スクーリング、レポートを通じ、表現する場を設ける。 | ・定型文の意味を理解したうえで、すんなりと表現できる。 | ・レポート提出 |
| | | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | | ・本文の内容をなるべく辞書を使わずに理解できる。 | ・本文を読んで内容を理解する。 | ・スクーリング中、積極的にし、レポートも正答率が高い。 | ・レポート提出 |
| | | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | | ・日本文化と外国文化の違いに興味を持ち、また互いのそれを尊重することができる。 | ・本文を読んで内容を理解する。 | ・本文中の要点を理解できる。 | ・レポート提出 |
| 3<br>範囲 | Lesson14<br>関係代名詞<br>Lesson17<br>比較①<br>Lesson18<br>比較②<br>Lesson19<br>仮定法①<br>Lesson20<br>仮定法②<br>(5回) | ２範囲と同様、各レッスンにおいて本文があり、その中のキーセンテンスを理解する。基本的な文構造を理解したうえで、自分自身のことを表現していけるよう、問題構成等がされている。また各レッスンの要所で、役に立つ表現や知っておくと便利なコラムが載っており、英語を表現する本来の楽しさをより高め、関心を持たせる内容である。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | | ・日本文化、また外国文化についてより興味・関心を持つことができる。 | ・スクーリング、レポートを通じ、表現する場を設ける。 | ・スクーリング中、積極的にし、レポートも正答率が高い。 | ・レポート提出 |
| | | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | | ・本文内容を読み、キーセンテンスの意味を理解し、その使いどころが分かる。 | ・スクーリング、レポートを通じ、表現する場を設ける。 | ・定型文の意味を理解したうえで、すんなりと表現できる。 | ・レポート提出 |
| | | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | | ・本文内容を辞書を見ずに概ね理解できる。 | ・本文を読んで内容を理解する。 | ・本文中の要点を理解できる。 | ・レポート提出 |
| | | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | | ・自分自身のことや自国の文化を理解し、それらを相手に伝えようとする気持ちも持つことができる。 | ・本文を読んで内容を理解する。 | ・言語や文化に関する単語を見て内容が理解できている。 | ・レポート提出 |